

オンライン朝会「SOS カード」6／29

始めに質問です。「ありがとう」「頑張ったね」「一緒に遊ぼう」「大丈夫？」「ごめんね」「いいよ」「またねー」こんな言葉を言われると、どんな気持ちになりますか？ きっと、うれしくなりますね。心が温かくなります。

では、「え～知らないの？」「まだ終わらないの？」「簡単でしょ」と言われたらどうでしょうか？ 自分では悪気がなくて、何気なく言った言葉でも、相手は悲しい気持ちになることがあります。言った人は何とも思っていないくても、言われた人の心はチクッと痛くなることがあります。

今月は「ふわふわ月間」でした。先週の朝会でも「ふわふわ言葉」と「チクチク言葉」のお話がありましたね。

みなさんは、こんな言葉は使わないと思いますが、実は、大人でも、相手の気持ちを忘れてしまうことがあります。今は、SNSなどで、思ったことをすぐに書き込むことができます。そのせいか、現実の世界でも相手の気持ちを考えないで、強く言ったりして、深く傷つけてしまうことがあります。

ぼくは正しい、わたしこそが正しい、だから言いたいことを言うんだ、本当にそれでいいのでしょうか？

みなさんには、そんな人にはなってほしくありません。

大切なことは、「言えるかどうか」ではなく、「言ってよいかどうか」だと思います。相手の顔が見えなくても、その向こうには心をもった人がいます。学校でも、おうちでも、インターネットの中でも、「相手はどう感じるだろうか？」と考えられる人になってほしいと思います。

思ったことを口にする前に、「この言葉は、ふわふわ言葉かな」「どういう言い方をすればいいかな？」心の中で一回だけでも考えられると素敵ですね。

一日に一回でも、ふわふわ言葉をかけてみてください。きっと、その言葉は相手だけでなく、自分の心もあたたかくしてくれます。学校中に笑顔が広がります。校長先生は、みなさん一人一人が「ふわふわ言葉」を使える人になってくれることを願っています。

そして、最後にもう一つ、この「SOSカード」は、困った時の切り札です。もう、3人の先生からサインはもらいましたか？ もちろん、困ったときは、誰でもいいですので、みなさんが話しやすい先生に、相談してください。

「弱音を吐く」ことに遠慮しないでください。先生方は、いつでも、みなさんの味方です。

